

## 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称  
会社名  
住所  
電話番号  
緊急連絡電話番号  
FAX番号  
担当部門  
推奨用途及び使用上の制限

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	
製品	NOP-F220
分類実施日	2017年7月25日
物理化学的危険性	
火薬類	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分2
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	区分4
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分1A
眼に対する重篤な損傷/刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	区分1
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素  
絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
引火性の高い液体および蒸気  
飲み込むと有害  
吸入すると有害  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 安全データシート

## 注意書き

## 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。  
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。  
 容器を密閉すること。  
 容器を接地すること/アースをとること。  
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。  
 火花を発生しない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 ミスト/蒸気の吸入を避けること。  
 取扱後は手をよく洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 【応急措置】

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。  
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類すべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ただちに医師に連絡すること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
 火災の場合：消火には、乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）、  
 または耐アルコール性フォームを使用すること。  
 流出物を回収すること

## 【保管】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 容器を密閉しておくこと。  
 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 【特定の危険有害性】

水と接触すると、水素、アンモニアを発生させる。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
イソノナン（ノナン異性体混合物）	>75	(2)-9	34464-40-9 68551-15-5
有機ポリシラザン化合物	≥20	開示しない	開示しない

## 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。  
 多量の水と石鹼で優しく洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 眼に入った場合 多量の水で15分以上よく洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合 被災者に意識がある場合、水又は牛乳を与えて胃内を薄める。無理やり吐かせてはいけない  
 直ちに医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤 二酸化炭素（炭酸ガス）、粉末(BC)消火器、耐アルコール泡消火器、不活性ガス  
 使ってはならない消火剤 水  
 消火を行う者の保護 全身保護衣を着用すること  
 火災の際には、適切な呼吸器を着用する。  
 特有の消火方法 蒸気を吸入しないために風上に移動する。  
 蒸気は発火源まで移動し、フラッシュバックするおそれがある。  
 火災の現場から製品を退避させるか、蓄熱による（容器内の）圧力上昇を抑えるため  
 容器を水の噴霧により冷却する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
 保護具および緊急措置 換気を十分にとり、部外者の立ち入りを防ぐこと  
 個人用保護具を着用すること  
 保護具を着用していない作業員は近づいてはならない  
 環境に対する注意事項 排水溝、水系、あるいは土壌等に流してはならない。  
 適切な保護措置により拡散を防ぐこと  
 回収が終わるまで十分に換気を行い、作業の際には適切な保護衣を着用する。  
 漏洩物は不活性な物質（乾燥砂、土、おがくず、ウエス等）を用いて吸収させ、  
 廃棄用容器に回収する。

## 安全データシート

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

技術的対策  
局所排気・全体換気  
安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。  
熱源、スパークおよび火気から遠ざけること  
蒸気の吸入や皮膚、眼および衣類への接触を避けること  
取扱いの後は、手等を十分に洗浄すること  
静電気の帯電への予防対策をとること

接触回避  
保管

技術的対策  
保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

消防法の規制に従う。  
納品時の容器で保管する  
発熱反応を避けるため、酸化剤、強アルカリ、強酸の物質から離しておく  
保管中にアンモニアが発生することがあるため、定期的に容器を開放する  
適用させる、法令・法規等に従って保管を行う

8. ばく露防止及び保護措置  
設備対策

## 保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具

ドラフトチャンパーあるいは局所排気装置等の使用下で取り扱うこと  
作業場には緊急時のシャワー設備、洗眼設備を設置すること

不十分な排気・換気または長時間にわたる暴露には、呼吸保護具を用いること  
適切な保護手袋（耐有機溶剤）を着用すること。  
リスクの程度に応じて眼に対する保護具を着用すること。  
（サイド保護付き保護眼鏡あるいは保護ゴーグル、必要に応じて保護シールド）  
皮膚への接触を避けるため、適切な保護具（耐有機溶剤）を着用する  
取扱い後はよく手を洗うこと。

皮膚及び身体の保護具  
衛生対策

## 9. 物理的及び化学的性質

製品	NOPC-F220	
物理的状态		
形状	液体	
色	無色	
臭い	アンモニア臭	
pH	データなし	
融点・凝固点	データなし	
沸点、初留点及び沸点範囲	データなし	
分解温度	データなし	
引火点	23.1℃	
燃焼又は爆発範囲	上限	データなし
	下限	データなし
蒸気圧	データなし	
蒸気密度(空気=1)	データなし	
比重(密度)	データなし	
溶解度 水	2層に分層する	
n-オクタノール・水分配分係数	データなし	
自然発火温度	データなし	

## 安全データシート

## 10. 安定性及び反応性

化学的反応性  
化学的安定性  
危険有害反応可能性

流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。  
通常の取扱いにおいては、安定と考えられる。  
爆発性過酸化物を生成することがあると推測される。  
強力な酸化剤、酸塩化物、アルミニウム、銅と反応する。  
強酸化剤との接触を避けること。強酸性および強塩基物質との接触は、  
本製品の加水分解を起こすことがある。  
水およびアルコールとの接触を避ける。  
熱源、スパーク、および火気から遠ざけること。  
強酸化剤、強塩基、水、アルコール  
二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物を発生させるおそれがある。  
水素、アンモニア

避けるべき条件

混触危険物質  
危険有害な分解生成物

## 11. 有害性情報

急性毒性  
経口

ori-rat LD50>300-2000mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

腐食性有り (ウサギ)

眼に対する重篤な損傷/刺激性

眼に重度の障害を与えるリスクがある

## 成分情報

イソノナン (ノナン異性体混合物)

急性毒性 (経口)

ori-rat LD50>5000mg/kg

有機ポリシラザン化合物

急性毒性 (経口)

ori-rat LD>300-2000mg/kg

皮膚刺激性及び刺激性

腐食性有り (ウサギ)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼に重度の障害を与えるリスクがある

## 12. 環境影響情報

製品情報

その他の環境影響情報

知見無し

組成情報

イソノナン (ノナン異性体混合物)

生態毒性

LC50 : >0.096mg/L, 96h, ニジマス  
EC50 : 0.15mg/L, 48h, オオミジンコ  
EC50 : >0.030mg/L, 72h, growth rate, 藻類  
NOEC : 0.030mg/L, 72hr, growth rate, 藻類

残留性・分解性

難分解性

有機ポリシラザン化合物

生態毒性

LC50 (ゼブラフィッシュ) : 57.1mg/L, 96h

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。  
焼却する場合は、関連法規・法令を遵守する。  
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が  
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
容器は清浄してリサイクルするか、関連法規や地方自治体の基準に従い適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去すること。

汚染容器及び包装

## 安全データシート

## 14. 輸送上の注意

製品	XOPC-F220
対象成分	
国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う
UN No.	2924
Proper Shipping Name.	Flammable liquid, corrosive, n.o.s. (Organic polysilazane compound)
Class	3
Subsidiary risk	8
Packing Group	II
Marine Pollutant	該当
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規定に従う
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
国連番号	2924
品名	その他の引火性液体(腐食性のもの) (有機ポリシラザン化合物)
クラス	3
容器等級	II
海洋汚染物質	該当

## 15. 適用法令

製品	XOPC-F220
労働安全衛生法	
名称等を通知すべき物質	イソノナン(ノナン異性体混合物)
名称等を表示すべき物質	イソノナン(ノナン異性体混合物)
第2種有機溶剤等	非該当
危険物・引火性の物	該当
消防法	
第4類引火性液体	第2石油類 非水溶性 指定数量1000L
毒劇法及び毒劇取縮法	非該当
PRTR法	非該当

## 16. その他の情報

本データシートは、我々が知り得た情報を基に作成しておりますが、記載データに関しては、いかなる保証をもなすものではありません。ご使用に先立ち、危険性、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、最新の規制、条例、法規制などを調査し、それらを優先して下さい。ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。情報の更新、修正が加えられる場合もありますので、ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合は、改めて弊社にご相談ください。記載事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、状況に適した安全対策を実施し、十分な注意を払って下さい。全ての化学物質は『未知の危険性、有害性がある』という認識で取り扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の方々の指導の下で取り扱うよう警告いたします。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。